



RAPiD BIKE 取り付け後の初期確認法です！

取り付け要領書通りRAPiD BIKEの取り付けが完了したら"RAPiD BIKE Master"を用いて初期確認を行います。

取り付け直後の初期設定です。接続確認とスロットルセンサーの0から100%の確認ならびに調整法になります。



重要事項

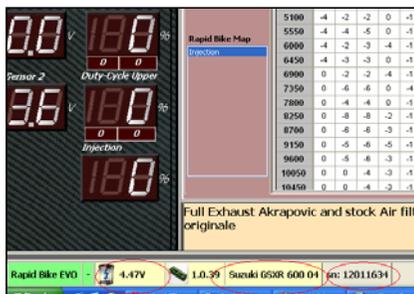
以下の初期確認を怠ると性能が十分に発揮できない、最悪、エンジンの始動が出来ないなどの問題が発生することがあります。

手順に従って正しく初期確認を行うことを強くおすすめします。

注意事項

この確認法等、記載事項はオートスタジオ スキルが独自に確認検証をした物を記載しております。当マニュアルの操作法等を確認する物では有りません。

- 1) USBケーブルを用いて取り付け車両とPCをアクセスします。
ケーブル取り付け後に"RAPiD BIKE Master"を起動しますと自動でモジュールを探しに行きます。車種によってはIG S/Wが ONでないとアクセスが出来ない物も有ります。
左上の"USB Connect"で再度モジュールとアクセスをして下さい。
アクセスが出来たら念のために"Get map"を押下してください。(右の赤丸アイコン)



- 2) "RAPiD BIKE Master"下部を確認します。
 - 2-A) 電圧を確認します。USB接続で4.5V付近に、IG ON時に+BV(12~13V)が有ればOKです。
 - 2-B) 車種名並びにモジュールのシリアルナンバーです(車種名の表示はEVOとRACINGのみです)

- 3) 基本画面の左上にあるT.P.Sを確認(IG S/W ONで)
スロットルを全開時で0%付近
(電圧が変化するので多少上下することは有ります)
スロットルを全開方向に変動させて変化することを確認
(全開で100%近辺に変化すること)
数値が変化しない場合にはT.P.Sの結線不良が考えられるので再度取付点検を！



4) スロットルのキリブレーションを行います

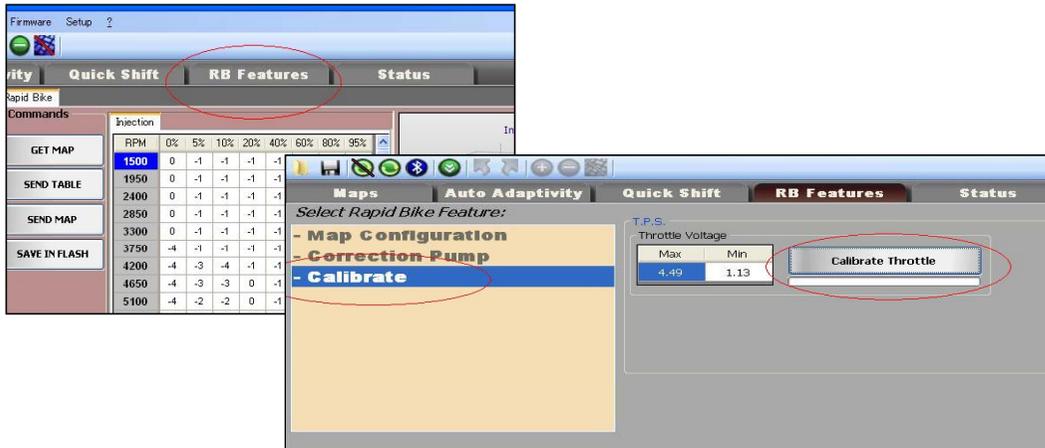
* フライbyワイヤーの車両は除く(デフォルト値を使用)

まずはエンジンを暖機します

"RB Features"のタブをクリック

左側の"Calibrate"をクリック

エンジンをアイドル状態で"Calibrate Throttle"を押下



スロットルを一時、全開にする。この時にエンジン回転数が全開にならなくてもOK!

スロットルグリップはしっかりと全開にして下さい一瞬でOKです。

スロットル全開が終わったら"Calibrate Throttle"ボタンが"STOP Calibrate"に変わっているので押下するボタン左の"Throttle Voltage"に全開、全開の計測値が自動入力されています。

画面、右下の"APPLY"を押して今の計測値を確定します。



RAPiD BIKE General Agency

オートスタジオ スキル Co.,Ltd